

大切なのは「心のゆとり」とお互いに相手の立場を尊重する「思いやりの心」です。
 年末から年始にかけての交通事故を防止するためにも「ゆとり」と思いやりの心をもって安全運転、安全走行を心掛けましょう。

街は人の波、道路は車の洪水。——街全体が何となく気ぜわしくなるのが12月です。
 その気ぜわしさのなかで、ややもすると、わたしたちは「心のゆとり」を見失いがちです。
 交通事故防止——ドライバーにとっても、歩行者にとっても

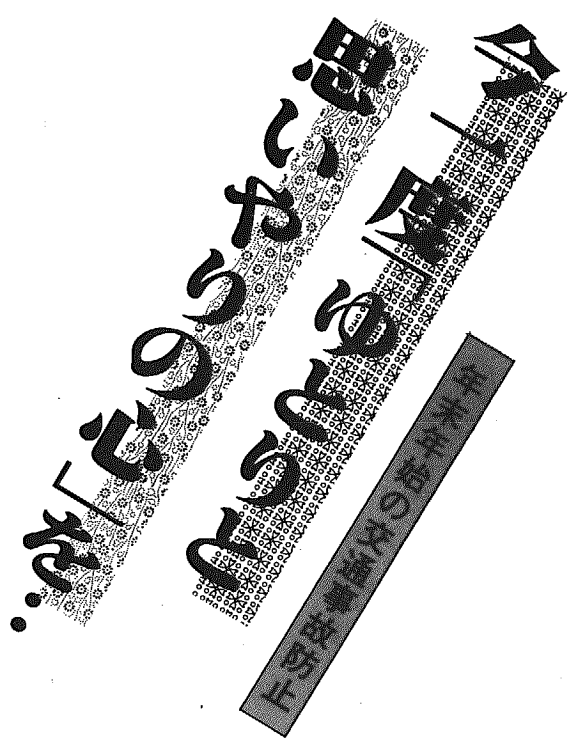


スピードの出し過ぎは「自殺行為」

最近の交通事故死亡原因のなかで目立つのは、制限速度を超えた、スピードの出し過ぎによる事故が大幅に増えていることです。
 そもそも、自動車の制限速度というのは、自動車の種類や道路の状況などを考え、危険を未然に防止し、交通の安全が保てる速度というところで指定されているのです。ですから、スピードの出し過ぎは自ら危険を冒し、死への道を進んでいるのと同じことです。ドライバーの皆さんは「スピードの出し過ぎは事故につながる」ということを心に銘記し、制限速度内で走ることを心掛けましょう。

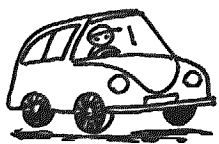
飲酒運転防止は「三ない運動」の実践から

年末から年始にかけては、「忘年会」や「新年会」などがあり、何かとお酒を飲む機会も多くあります。この時期、ドライバーの方に特に注意してもらいたいのが飲酒運転による事故です。
 お酒を飲むと、自分では酔っていないと思っても、感覚は麻痺し、素早い判断や行動ができなくなり、非常に危険な状態になります。
 具体的には、前方の人や車の確認が遅れたり、見落としたりするほか、気が大きくなり危険を危険とも思わなくなってしまうなど非常に不安定な心理状態になります。



▽歩行者、特に子供や老人の方が左右の安全を確かめずに横断しようとしているのを見かけたら、一言声を掛けたり、手を引いて横断を手助けしてあげましょう。
 △夜間外出する場合は、明るい色の服装を心掛けたり、反射材の付いた服などを着るなどして、ドライバーからよく見えるような配慮をしましょう。

△横断するときは必ず、いったん立ち止まり、安全を確かめ、速やかに渡りましょう。
 △駐停車している自動車の間や、渋滞でノロノロ走っている自動車の直前直後の横断はやめましょう。



△横断するときは必ず、いったん立ち止まり、安全を確かめ、速やかに渡りましょう。
 △駐停車している自動車の間や、渋滞でノロノロ走っている自動車の直前直後の横断はやめましょう。



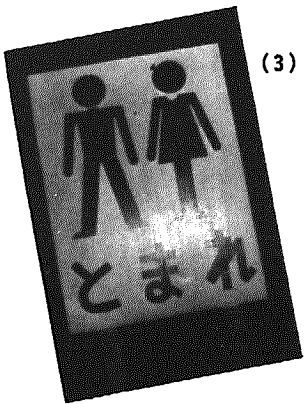
なときでも、はやる気持ちを抑えて運転することだと言われています。
 年末のあわただしさのなかで、時間に追われての運転中、ついほかのことを考えたり、わき見運転するのは大変危険です。ちよっとした心のスキが事故を招きます。安全なスピードで、十分な車間距離を保ち、前方の安全を確認し、どんな事態にも対応できるように常に「ゆとり」をもって運転しましょう。

歩行者の安全な横断は自らの手で

歩行者も、年末になると気分的にあわただしくなり、つい先を急ぐ気持ちから、いきなり道路に飛び出したり、無理な横断をしたりする光景が目につきます。
 しかし、車は急に止まれません。急ブレーキを踏んでから車が止ま

れるまでの距離はというところ、時速六十キロで約六十メートル必要です。また、時速六十キロでの走行距離は一秒間で約二十メートル。まだ遠くに車がいると思ってもアツという間に近づいてきます。
 はやる気持ち、あせる気持ちは歩行者にも禁物です。「自らの安全は自らの手で」を合言葉に、交通事故に遭わないために次のこと

▽横断するときは必ず、いったん立ち止まり、安全を確かめ、速やかに渡りましょう。
 △駐停車している自動車の間や、渋滞でノロノロ走っている自動車の直前直後の横断はやめましょう。



一旦停止を!!
ミニとまれ板

安全運転の励行は「ゆとり」から

つまり飲酒運転は、交通事故と背中合わせになっているのです。飲酒運転の防止には、ドライバー自身が気を付けるだけでなく、家族、地域、職場ぐるみの注意も必要です。
 そこで、ぜひ次の「三ない運動」を実践してください。
 △飲んだら乗らない
 △乗るなら飲まない
 △乗るなら飲ませない
 また、酒類を提供する飲食店経営者の方は、車で来ているお客さんには十分配慮し、酒類は絶対に出さないとか、お酒を飲んだ場合は、車のキーを預かるなどして、真の思いやりで飲酒運転を防止しましょう。

ベスト・ドライバーの条件とは、走行中、特に先を急いでいるよう

相次ぐ交通事故に歯止めをかけよう——と10月から設置されている村交通死亡事故緊急対策本部では「身近に出来ることから取り組もう」とこのミニとまれ板、を作りました。図案は歩行者と車の2種類。小さな路地から大通りへ出る所に設置しました。

一旦停止で確認を——

雪にそなえて障害物の処理を

いよいよ本格的な雪のシーズンです。

村では、村道の除雪に備えて、路肩にスノーポールを立てたり、除雪機械の整備・点検をして、除雪に万全を期しています。

毎年、除雪の際路上に張り出た樹木の枝などで作業に支障をきたすことが多くあります。みなさんも除雪に備えて張り出た樹木の枝おろしや生垣の補強など障害になるものの処理をして効率のよい作業ができるようご協力ください。

〈注〉スノーポール—除雪の際、道路の位置の目印と危険防止のため立てられる赤白に塗り分けられた棒のことです。

